

福島第一原子力発電所の状況

平成 26 年 4 月 30 日
東京電力株式会社

< 1. 原子炉および原子炉格納容器の状況 > (4/30 11:00 時点)

号機	注水状況		原子炉圧力容器 下部温度	原子炉格納容器 圧力*	原子炉格納容器 水素濃度
1号機	淡水 注入中	炉心スプレイ系:約 2.0 m ³ /h	19.0 °C	103.8 kPa abs	A系: 0.00 vol%
		給水系:約 2.5 m ³ /h			B系: 0.00 vol%
2号機	淡水 注入中	炉心スプレイ系:約 2.5 m ³ /h	28.5 °C	4.75 kPa g	A系: 0.03 Vol%
		給水系:約 1.8 m ³ /h			B系: 0.03 Vol%
3号機	淡水 注入中	炉心スプレイ系:約 2.4 m ³ /h	25.9 °C	0.24 kPa g	A系: 0.06 Vol%
		給水系:約 2.0 m ³ /h			B系: 0.05 Vol%

*:絶対圧(kPa abs) = ゲージ圧(kPa g) + 大気圧(標準大気圧 101.3 kPa)

< 2. 使用済燃料プールの状況 > (4/30 11:00 時点)

号機	冷却方法	冷却状況	使用済燃料プール水温度
1号機	循環冷却システム	運転中	19.0 °C
2号機	循環冷却システム	運転中	16.5 °C
3号機	循環冷却システム	停止中	19.7 °C*
4号機	循環冷却システム	運転中	18.1 °C

※各号機使用済燃料プールおよび原子炉ウェルヘビドランジンの注入を適宜実施。

*3号機使用済燃料プール冷却系停止中のため、使用済燃料プール水温については至近のデータ(4/28 5:00)を記載。

【3号機】

・H26/4/19～ 使用済燃料プール内瓦礫撤去作業のうち、燃料交換機本体撤去作業を実施。

4/23～ 使用済燃料プール循環冷却系については、使用済燃料プール内の燃料交換機本体撤去作業に伴い、4/23～6月上旬の間、原則毎週月曜日 7:00～土曜日 16:00 の間停止予定(停止時間は最長で 129 時間、毎週土曜日 16:00～月曜日 7:00 の間は運転予定)。また、水温は運転上の制限値 65°C に十分な余裕を持った 45°C を超えることがないよう、同冷却系停止前のプール水温度を 29°C 以下として管理する。

<最新の作業実績>

4/28 6:34 冷却系停止(停止時温度:19.7°C)

4/30 14:06 冷却系起動(起動後の温度:23.3°C)

< 3. タービン建屋地下等のたまり水の移送状況 >

号機	排出元 →	移送先	移送状況
3号機	3号機 タービン建屋	→ 集中廃棄物処理施設(雑固体廃棄物減容 処理建屋[高温焼却炉建屋])	4/24 10:34 ～ 移送実施中

< 4. 水処理設備および貯蔵設備の状況 > (4/30 11:00 時点)

設備	セシウム 吸着装置	第二セシウム 吸着装置 (サリー)	除染装置	淡水化装置 (逆浸透膜)	淡水化装置 (蒸発濃縮)	多核種除去設備 (ALPS)
運転 状況	停止中	運転中*1	停止中	水バランスを みて断続運転	水バランスを みて断続運転	ホット試験中*2

*1 フィルタの洗浄、ベッセル交換を適宜実施。

*2 高性能容器(HIC)交換等を適宜実施。

<5. その他>

・H26/1/29～ 2号機海水配管トレンチ凍結止水工事における凍結管を設置するための削孔について、凍結管を設置するための削孔を実施中。削孔作業と並行して、3/27より挿入作業ができるようになった孔から順次、凍結管およびパッカー挿入の作業を開始。

4/2 挿入が完了した凍結管について凍結を開始し、4/26に全17本の凍結管の挿入作業、そのうち13本のパッカー設置作業が終了したことから、4/28凍結管全17本の凍結運転を開始した。今後、1ヶ月程度で凍結の壁を造成していく予定であり(6月頃完了予定)、凍結状況については、測温管にて確認していく。

・H26/3/14 13:35～ 共用プール西側において、凍土遮水壁の実証試験(凍結試験)を開始。

・H26/4/22 13:45頃 福島第一原子力発電所共用プール建屋に設置してあるエリアモニタ※(3台)について、欠測していることを確認。当該エリアモニタについては、1日に1回、線量当量率を測定することとなっているが、4/19～4/21の3日間、測定ができていなかった。なお、4/22に手サーベイによる当該エリア周辺の測定を行い、欠測前の値と比較し、有意な変化がないことを確認。

・3階オペレーティングフロア 4/18: 1.9 μ Sv/h、4/22: 1.8 μ Sv/h

・1階監視操作室 4/18: 11.0 μ Sv/h、4/22: 7.0 μ Sv/h

・1階キャスク保管エリア 4/18: 16.0 μ Sv/h、4/22: 20.0 μ Sv/h

その後の調査の結果、4/18 9:30頃、制御盤改造工事のために当該エリアモニタの2重化された電源(A・B系)のうち、A系の電源を停止した際、B系の電源も一緒に停止したことが判明。また、当該エリアモニタには記録紙(チャート)が付いており、記録紙を一週間に1回確認することで、線量当量率が毎日1回測定されていることを確認しているが、4/22現場にて記録紙の確認を行った際、当該エリアモニタの電源が停止し、欠測していることを確認。当該エリアモニタについては、4/23以降に復旧する予定であり、その間は毎日1回、手サーベイによる当該エリア周辺の線量当量率を測定し、有意な変化がないことを確認する。なお、共用プール建屋3階オペレーティングフロア(オペフロ)については、燃料取扱い作業のために可搬型のエリアモニタを設置し、当該エリア周辺の線量当量率を測定しており、当該エリアモニタが欠測している期間(4/19～4/21)において、警報等の異常が発生していないことを確認。

A系の電源を停止した際、B系の電源と一緒に停止した原因は、H24年6月にエリアモニタB系を復旧した際、誤ってA系の電源を接続していたことによるものであると判明。引き続き調査を行っていく。

※エリアモニタ: 当該エリアの雰囲気線量を測定する装置

・H26/4/29 4号機の使用済燃料プールから共用プールへの燃料移動については、移動を予定している1,533体の約半分となる770体の移送を完了。引き続き、安全を最優先に移動作業を進めていく。

【H4,H6エリアタンク周辺観測孔(周辺排水路含む)の状況、タンクパトロール結果関連】

<トピックス>

・H25/12/10～ 汚染水拡散の防止策として、H4エリア周辺に設置したウェルポイントから地下水の汲み上げを再開。

<タンクエリアパトロール実績(4/28～29)>

- ・高線量当量率箇所(β 線による70 μ m線量当量率)は確認されず。
- ・堰床部に雨水が溜まった箇所については、雨水による遮へい効果により線量当量率は低い状態となっている。
- ・目視点検によりタンク全数に漏えい等がないこと(漏えい確認ができない堰内溜まり水内を除く)を確認。
- ・汚染水タンク水位計による常時監視で、タンク水位に異常がないことを確認。

<H4エリア周辺のサンプリング実績>

・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

<福島第一構内排水路・南放水口のサンプリング実績>

・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

<H6エリア周辺のサンプリング実績>

・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

【焼却工作建屋の水位・焼却工作建屋サブドレン水の分析結果】

<トピックス>

・H26/4/14～ 集中廃棄物処理施設4カ所(プロセス主建屋、高温焼却炉建屋、サイトバンカ建屋、焼却工作建屋)のうち、3カ所間において、通常使用していない以下の滞留水移送ラインに設置してある仮設ポンプ(4台)が運転中であり、焼却工作建屋地下1階の全域に滞留水が広がっていることが確認されたことから、常設水位計による常時監視ならびに、焼却工作建屋のサブドレン水の分析を強化中。

<最新の水位>

・各建屋内の滞留水の深さについて大きな変化は確認されていない。

[4/30 14:00時点の各建屋水深]

焼却建屋: 深さ 18.2cm(4/14 移送停止後と比較し、0.6cm 増)

工作建屋: 深さ 5.1cm(4/14 移送停止後と比較し、0.1cm 増)

<最新のサンプリング実績>

- ・大きな変動は確認されていない。

【タービン建屋東側の地下水調査／対策工事の実施状況】

<トピックス>

- ・1,2号機取水口間のウェルポイントおよび集水ピット(南)地下水から立坑Cおよび2号機タービン建屋への移送量は4/30 0:00 時点で約 10,935m³ *集水ピット(南)およびウェルポイントの総量

<移送関係>

- ・2,3号機東側に設置したウェルポイント(バキュームによる強制的な排水設備)からの地下水汲み上げおよび2号機タービン建屋への移送を適宜実施中。
- ・H25/12/11～ 1, 2号機間護岸エリア地下水観測孔 No.0-3-2 でトリチウムが検出されていることから、当該観測孔からの地下水の汲み上げを試験的に適宜実施中。
- ・H26/1/29～ 1, 2号機間護岸エリア地下水観測孔 No.1-16 で高い濃度の全ベータが検出されていることから、当該観測孔近傍に設置した地下水汲み上げ用の孔(No.1-16(P))からの地下水の汲み上げを適宜実施中。

<地下水観測孔サンプリング実績>

海側遮水壁工事の進捗に伴い新たに設置した海水の調査地点、福島第一1号機取水口(遮水壁前)[4/28 初採取]の測定結果は以下のとおり。

【1号機取水口(遮水壁前):4/28 採取分】

- ・セシウム 134 : 4.8 Bq/L
- ・セシウム 137 : 13 Bq/L
- ・全ベータ : 71 Bq/L

その他については、前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

【地下貯水槽からの漏えいに関する情報および作業実績】

<トピックス>

- ・H25/7/1～ 拡散防止対策およびサンプリングは継続実施中。
- ・H25/10/3～ 地下貯水槽 No.1 の汚染範囲調査開始。

<地下貯水槽サンプリング実績>

- ・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

以上